

「IoT、IT 活用のためのセキュリティー講習」を開催しました。

「IoT、IT 活用のためのセキュリティー講習」を平成 30 年 11 月 27 日に開催しました。神戸市と NIRO では、今年度から新たに「IoT・スマートものづくりスクール」として、ものづくりの高度化を目的に、毎回テーマを絞った講習・セミナーをシリーズで開催していますが、この第 3 回に当たります。

今回のテーマは IoT を自社の製造ラインに導入し、活用する際に避けて通れないセキュリティーについて、「どんな脅威が潜んでいるのか？、実際の状況を紹介いただき、機器選定にあたっての注意は？、運用にあたっての注意は？、システムの診断方法は？など」をポイントに 2 名の講師の方にわかりやすく解説いただきました。会場の神戸市産業振興センターには 38 名の参加者が集まりました。ものづくり企業の方だけでなく、設備の導入・管理を担当する方など、幅広い分野の方にご参加いただきました。

1. NTT コミュニケーションズ株式会社 情報セキュリティー部長 小山 寛氏より IoT 時代の「サイバー犯罪 x セキュリティー対策」の課題とは？

で講演いただきました。

まず、最新のサイバー空間における世界のセキュリティーはどうなっているか？様々なトピックを交えご紹介いただき、恐ろしい現実を目の当たりにしました。次に、IoT 時代のリスクとセキュリティー対策では、何が現実になっているのか、その恐怖はと実感させられました。そのうえで、IoT 機器の製品選定では何に注意すべきか、運用では何に注意すべきかなどをポイントアウトいただきました。講演の様子です。



2. 株式会社神戸デジタル・ラボ(KDL) セキュリティ事業部長 三木 剛氏より 「IoT 機器の脆弱性と診断サービスについて」

で講演いただきました。

まず、IoT 時代において、あらゆるものがインターネットにつながり、接続デバイスは約 200 億台という状況の説明があり、取り巻く脅威について説明いただきました。特に、日本では目にすることが少ない制御システムの事故の紹介もあり、IoT 機器が置かれている状況の認識を新たにしました。

次に、KDL 様が実施している IoT のセキュリティテスト

- ・脆弱性診断
- ・ペネトレーションテスト

についての紹介もありました。

コネクティッドデバイスに対するセキュリティこそ企業の事業継続に必須との説明もありました。

講演の様子です。



3. Q&A タイム

参加者の皆様より疑問、質問をいただき、2名の講師の方に答えていただきました。

質問事項、コメントなどの例です。

- ・VPN 回線は本当にセキュア？
- ・IP アドレス制限は有効？
- ・セキュリティ対策としては将来を見据えた計画も！
- ・情報漏洩対策は客先だけでなく、客先の客先も見据えること！
- ・リスクを経営層が理解することが重要！

質疑の様子です。



アンケートでは、

- ・初めて知った
- ・判りやすい
- ・活用・実践したい
- ・意識改革・経営層への周知などが必要

等のセキュリティー対策講習への前向きなお声を多くいただきました。

以上